

## 審議会等の会議結果報告書

【担当課】生涯学習課図書館係

会議の名称	令和7年度第4回図書館協議会		
開催日時	令和7年2月17日(火) 午後14時00分～15時10分		
開催場所	茅野市図書館		
出席者	矢崎智義委員長、松岡隆志副委員長、奥原貴美子委員、志水琴美委員、山田教育長、小池生涯学習部長、矢嶋生涯学習課長、名取元子茅野市こども読書活動応援センター代理、伊藤図書館長		
欠席者	小田由美委員、田村満利子委員、千野憲一委員、山田哲靖委員		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容		
生涯学習課長	<p>1 開会(生涯学習課長)</p> <p>これより第4回図書館協議会を開会します。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。それでは、教育長より挨拶をお願い致します。</p>		
教育長	<p>2 あいさつ</p> <p>今日はお集まりいただきありがとうございます。4月の図書館協議会の際に、少しずつ図書館を変えていくとお約束したと思います。皆さんに助けいただきながら今年度少しずつ変わって参りました。図書館に来て、雰囲気が変わったなという風に感じています。考えてみますと、図書館の本質とは何だろうと思います。それを守るがゆえに図書館を変えていかなければならない、ということでそのためにもう一度図書館法を読んでみたり、委員長さんからいただいた英語のアメリカ図書館協会の12か条を辞書を片手に読んでみたりしました。来年度はまた気持ちを新たに大きく図書館を変えていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>いつも図書館協議会の時に本の話をするのですが、今日はとても嬉しいことがありました。最近私は「失敗の本質」という本を読んでいます。たまたま委員長さんが同じタイトルの本を読んでいて、「超」が付くのですがやはり失敗の本質という本で、私の持っている本とは違う本なのですが非常にコンパクトにまとめてありました。素晴らしい本に出会えたので嬉しく思っています。</p> <p>それから、諏訪と佐久の間に電気鉄道の計画があったのをご存知ですか？大正8年に計画された幻の佐久ー諏訪電気鉄道です。茅野では工事が始まっていたので今でもその跡が残っています。私はそのことについて今まで調べてきましたが、あまり文献が残っていなかったのです。今日たまたま時間が少しあったので図書館の郷土資料室に入ってみたらこの電気鉄道について書いてある本を見つけました。まだしっかり読んでいませんが、新たな資料を見つけられましたので、今日は本当に嬉しく思いました。</p>		
生涯学習課長	<p>はい、ありがとうございました。それでは、審議会の公開について館長の方からお願い致します。</p> <p>3 審議会の公開について (資料1により、審議会等の公開について事務局から説明)</p>		

	<p>(特に異議はなく、本日の会議について公開することを決定)</p> <p>4 会議事項 (1) 図書館協議会について</p>
委員長	<p>例年でしたら令和7年度の図書館運営状況を館長からご説明いただくのですね、今年度は行政アドバイザーの中川先生のお話を聞く勉強会や、職員さんを交えた意見交換会を実施しました。第3回図書館協議会では、中川先生のお話をお聞きした後の皆さんからのご意見をお聞きできませんでしたので、今回は意見交換をしたいと思います。</p> <p>その前に、たまたまインターネットを見ていたら、興味深い話がありました。横浜市で新しい図書館を作るらしくて、そのための横浜市新図書館整備基本構想というものがあります。この中でデジタル化を進めようという話がありました。AIと話をしながら心を動かす一冊を探しませんか？というものです。横浜の図書館で試しに始めてみたらいいのですが、スマートフォンのようなデジタル端末を渡して、それを使って読みたい本を探すというサービスのようなものでした。資料を回しますのを見てみてください。私もレファレンスで「元気が出る本ありますか？」と聞いたことがあるのですが、それと同じようなことができるということです。構想にはいくつか柱があって、デジタル技術を導入しようという取り組みの中でAIを使うというものがありましたので、茅野市でもできることはやっていかないといけないのかな、と思います。デジタル化をできるところは進めていければという気がしました。</p> <p>それでは戻りまして、中川先生のお話も踏まえてご意見・ご感想と今後どのようにしていったらいいかお話をお聞きしたいと思います。館長から今年度の報告はありますでしょうか？</p>
図書館長	<p>報告は資料に載せてあります。</p>
委員長	<p>それでは、報告を先にお願います。</p>
	<p>(2) 令和7年度図書館運営状況について (資料2、資料3について図書館長から説明を行う)</p>
委員長	<p>委員さん感想をお願い致します。</p>
委員	<p>本来でしたら今日は仕事の日で、やることがあったのでまだ頭の中がまとまっていないのですが、通常は図書館協議会が開催される回数は年間でも何回なのですか？</p>
図書館長	<p>これまでは2回か3回開催されていました。</p>
委員	<p>そうですね。今年は中川先生の勉強会でアクシデントがあって回数が増えたのだと思いますが、第2回、第3回の図書館協議会がとても良かったと思います。館長さんはじめ職員の皆さんがその後から変わってきたという気がしています。館長さんもあつと「職員さんの率直な意見が聞けてとても良かった」とおっしゃっていたと思うのですが、その通りだと思います。やはり同じ職場で働いている人たちがお互いを理解するために会話していくということはとても重要なことで、私も昔ここでお世話になっていた時はよく「事務室の笑い声が大きい」と言われたりしたこともありました。ですので、図書館はどこもかしこも静かだったらそれでいいということではないの</p>

	<p>で、どんぐり図書室もそうなのですが、職員の方たちがお互いに仕事のこともそうだし、仕事以外のことも話し合えるようになれば、自然と来館者に対しても良い気持ちで対応ができるようになるのではないかなと思います。これからもっともっと話し合って、風通しの良い図書館になっていくといいなと思います。</p> <p>それから、おはなし会のことですけれども、今年度も「楽しいおはなし会」をさせていただいて、読り一む in ちの中でも高齢化で出られなくなったメンバーがいたりして、人の入れ替えがここのところ激しいのですけれども、それでもお父さんお母さんと子どもたちが来てくれて、楽しくおはなし会をすることができました。ポツンと単独でおはなし会をするのではなくて、普段土曜日におはなし会や紙芝居をやっているということの積み重ねがあって、点ではなくすべてが線で繋がるようにしていくことで、聞きに来るお子さんたちもリピーターが増えてきていますし、やっている方もお子さんの成長を見られたりして楽しくおはなし会ができました。嬉しかったです。ありがとうございました。</p>
委員	<p>私は茅野に住んでいる訳ではないですし、茅野の小中学校を知っている訳でもなく、早4年になりました。どうしても学校図書館の視点から、学校図書館と公共図書館との連携をどう取っていったらいいのか、という観点で見るが多くなってしまふ部分があります。お役に立てているかわからないのですが、私が委員になった年から高校生たちがおはなし会に参加させていただいていますが、私の学校も生徒の人数が減ってきてしまっているのです、今年はハロウィンおはなし会の1回だけ参加させていただく形になりました。図書委員が1学年につき3人ほどしかいないので、図書委員が全体で10人に満たない状態ですので、おはなし会に参加する回数が多いと苦痛に感じてしまう生徒もいて、相談させていただきそのような形になりました。</p> <p>実は高校の図書館の協議会の当番が今年本校に回ってきてまして、参加させていただいた生徒はそちらの事務局の運営もしながらおはなし会も参加するという形でしたので、今年は例年よりもバタバタ忙しい1年でした。その中でも、とにかくやる気のある生徒がおはなし会に参加してくれていて、おはなし会も「ぜひ行きます」と言って参加してくれた意欲のある子があの3人でした。どうしても生徒数が減っていくと、図書委員になりたいくなったのではない生徒も増えてきてしまつて、「しょうがないな、図書委員ならさほど仕事がないだろう」と思って委員になる子がいたりする中で、どう連携を取っていくかということを考えています。</p> <p>今年は実は図書委員の方で心光寺さんの「お寺マルシェ」に参加しました。葉作りの体験と、作った葉の販売をして、その際にお金を頂戴してもいいということだったので、そういった形での参加をさせていただきました。文化祭では無料で葉作りの体験をして持ち帰ってもらうということもしているので、図書館に作った葉を置かせてもらうというようなことができたらいいなと今考えているところです。小中学校の先生からお声がけいただいでいて、おそらく小学校の1校よりも本校の生徒数の方が少ないのですけれども、蔵書は小学校、中学校よりたくさん持っているのです、連携を取って貸出をすることが来年度は実現できたらと思っています。</p>
副委員長	<p>今年度から副委員長という形で参加させていただいて、さきほど委員長と図書館長からもお話があったように、今年度は本来図書館とはどうあるべきかというようなことを、職員さんと協議会みんなで考える機会を持ち始めたということが、変わり始めの第一歩となっているということを実感しています。資料3で図書館長から色々まとめていただきましたが、図書館の雰囲気がとても変わってきている感じがします。図書館でオリンピック開催に向けての展示がされていたのを見て、私はすごくいいなという印象を受けまし</p>

	<p>た。入口から入ってきた時にどういった情報に接するかは大事なことで、オリンピックなどは非常に市民の興味を引きますので、野明選手が銅メダルを取りましたけれども、関心が高いことにタイムリーな展示がされていると図書館に来た時の充実感が高まるのではないかと思います。小さなことのように感じられて、職員の方も考えて良くしようとされているなということを実感しています。</p> <p>先ほど他の委員からお話があったのですが、次年度に向けてどんな活動をどのように進めていくかということを考えて時に、地域との連携として高校の学校図書館と公共図書館の連携、また大学図書館との連携、それから茅野駅にまちライブラリーというワークショップをする施設がありますが、このコミュニティに私は参加しています。その中の読書会などでは世代も違えば通常だったら繋がりのないような人たちが集まって、本について議論するというような場が実際にあります。そういう場を公共図書館でも創るようなことがもしかしたらできるのかもしれない。そのために皆の意見を聞くような場を設けることがとても大事だと思っていますので、そういったことを次年度は少しずつ進めていければいいのかなと感じています。</p>
委員長	<p>せっかくですので職員さんにも話を聞きましょう。</p>
図書館職員	<p>今年度は図書館協議会の委員の方と話す機会を設けさせていただいて、今までそんなことは1度もなかったのが正直抵抗のある職員もいたと思うのですが、それから少し雰囲気が変わったなと私たち職員も思います。特に4月から新しく入ってきてくれた職員はすごくやる気もあるし新しいアイデアを活かしたいという方がいて、率直に意見を言い合えるという空気ができたことは、私としても新鮮で雰囲気が変わってきていると感じられました。</p> <p>私も展示を担当していたりしますが、些細なことではあっても自分のアイデアが形になって利用者さんに喜んでもらえるのととても嬉しかったですし、職場が良い雰囲気だなということを感じています。ありがとうございます。</p>
図書館職員	<p>先ほどからお話にてできていますが、今年度は図書館協議会の委員長さん、副委員長さん並びに委員の皆さんともお会いできる回数が増えまして、日頃思っているもなかなか口に出して言えなかったことを良い意味で吐き出した1年だったと思っています。それによってあの人は実はこう思っていたんだ、というような気づきもありましたし、職員が少しずつ変わってきたというのは本当に事実だと思います。新しいものも取り入れていくし、古き良きものは残していく、というようなことをみんなで話し合うことができたのではないかなと思っています。まだまだ初めの一歩ですので解決していかなければいけないことや、利用者さん目線で考えてやっていかなければいけないことがたくさんあると感じています。図書館の仕事はやりがいのある仕事ですし、利用者さんに喜んでいただけることは何か考えながら頑張っていたらと思っています。今年度もありがとうございました。</p>
委員長	<p>皆さんありがとうございました。これまで何年も図書館協議会をやってきた中で、委員だけで話すのが決して良いことではないということを思いました。パートナーシップでずっとやってきましたけれども、市民だけが話すのではなくて、市民と実際の当事者である職員の方が話をしないと本当の問題が見えてこないし解決できないと思います。それがやってみてやっとわかったように思います。どの会議も職員さんを入れて話をしないと良い会議にならないのではないかと思います。そういう意味では今年図書館協議会も社会教育委員会も一歩踏み出したのではないかと思います。</p> <p>館長のしてくれた話に戻ります。私が今日なぜ「失敗の本質」という本を持って来たかと言うと、この中で日本がなぜ第二次世界大戦に負けたのかと</p>

<p>こども読書活動応援センター代理</p>	<p>いう理由が書かれているからです。それを真摯に反省しない限り日本に明日はないと本の中で言っています。いろんなことが書かれていますが、日本には戦略がなかった、ということを行っています。目的達成に繋がる勝利の数がアメリカ軍は多かったけれども、日本は少なかった。個々の場所の戦闘では勝っていたけれど、全体としては負けていたと言っています。</p> <p>私が図書館協議会をやってきて思うのは、目標管理というシステムを取り入れています。現状を見て、課題を見た時に、あるべき姿と現状とのギャップが課題になるわけです。本来であれば、あるべき姿を達成するために何をしなければいけないのかということから目標が出てくるのですが、今までの図書館のその年度の目標を決めていくやり方というのは、そういう考え方だったのかな？と疑問に思います。もっと言えば、目標を作った時にこの目標を達成するために何をしようか？という議論があったのかどうか。もう何年も前の話になりますけれど、図書館で目標管理という手法を取り入れた時に、目標を達成するために何をしようか？という議論ではなくて、今までやってきた事業をどこに当てはめようか？というふうに考えて来たのだと思うんですよ。今年も「行きたくなる心躍る図書館」を目指したのですが、これはあるべき姿の何を達成するために選ばれたのでしょうか？あるべき姿をいくつか出してあると思うのですが、情報の図書館を目指すとするならば、それに対して何をやっていきたいのか？を考えなければいけないと思います。</p> <p>なぜこんなことを言うのかというと、今年の目標を達成しました、こういう結果でした、良くできましたというのもいいのですが、Planがあつて、Doがあつて、Checkがあつて、Actionがある、というこのサイクルが回らないと物事は良くならないです。企業ならば、ある目標の売り上げを達成するために今年はこれをやりましょう。やってみてダメならこうしましょうという循環をするのですが、図書館のようなところではそういう必要もないのでなかなか今までのことがなかったように思います。けれども、目標管理をやっているのですから、目標があつてそれに対して何をやるのか？それがうまくいかなかったらどうするのか？そのサイクルを回していきたいといます。私は何年も前から図書館協議会でそれがわかるような資料が欲しいと歴代の館長さんをお願いをしていたのですが、もらえませんでした。今年館長さんが職員さんのやったことをまとめてくれた資料がありましたけれど、何のためにやっているというものがなければ、次へ続いていかないのではないかと思います。その人がいなくなると終わってしまう。例えば、行きたくなる図書館と言うならそのために何をやるのか？そしてやってみたら結果をチェックする。その繰り返しをすればいいと思います。そういうシステムをぜひ取り入れていただきたいなと思います。思いつきではなく、このサイクルを回していくような形にしていけば次に続いていくのではないかと思います。</p> <p>ありがとうございます。中川先生の研修を皆さんと受けた帰りがけに、どんぐり図書室でやってもいいよねという話をして、交流会のおはなし会をどんぐり図書室でさせていただきました。そうしたら来館者の親子連れさんが参加してくれて、本当に良い雰囲気でおはなし会ができて、ボランティアの他の皆さんもぜひここでやりたいと言ってくれました。今年は実際にやることの価値をすごく感じました。余談になりますけれど、孫を連れて他の市町村の図書館のおはなし会に参加したのですが、おはなし会の雰囲気が全然違いました。参加しているお子さんたちが、ここに来る子たちのようにのめり込んでいなかったんです。何が違うんだろう？と思って考えてみると、職員さんの演じ方や投げかけ方も違うし、きっと茅野の子たちは生まれた時のファーストブックや、それより前のおなかの赤ちゃんおはなし会の頃からの本に親しんでいるので、その積み重ねもあるのだろうな、ということ</p>
------------------------	--

<p>生涯学習課長</p>	<p>を感じました。そう感じましたので、職員さんはもっと自信を持っておはなし会をアピールしてもいいのではないかなと思います。</p> <p>今お話を聞いてとても嬉しかったです。委員さんたちが図書館の雰囲気が変わったと感じてくださいました。そして職員さんの方からも職場の雰囲気が変わったという話があって、成果が出ているのを感じましたので本当に嬉しかったです。まだまだ変わり始めているという段階ですので、ぜひこの動きを来年度に繋げていただければと思います。</p> <p>館長が紹介してくれましたけれど、工夫も随所にしてきていますし、資料からは今までとは違った気持ちでやってくれているということを読み解くことができると思います。自然に恵まれた茅野市の図書館を、これからもっと心躍る図書館にしていきたいと思います。</p>
<p>生涯学習部長</p>	<p>やはり対話をするのが大事だなと思いました。職員の皆さんは今までも仕事を通じて色々な話をしてくれていると思いますが、その対話の質がおそらくかなり上がっているのだなと感じます。そこへ委員長さんや他の委員さんからの的確なアドバイスをもらったことや、寄り添って考えてくださったことで対話が深まっていったことがわかりました。そういったことが良い雰囲気作りに繋がっていると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>私たちは大したことはできませんけれども、中に入ることで少しでも職員さんたちの刺激になればうまくいくのかなと思いました。先日職員さんと話す中で、職員さんたちの中でも全員の仕事を把握していないということに気が付けて良かったという話がありました。</p>
<p>教育長</p>	<p>今までは図書館を運営するという視点がなかったと思います。今まで通りにやっていたら1番安全だと思ってはだめだ、ということが皆さんのおかげで良く分かってきました。来年は運営にプラスして経営という視点で図書館を見ていきたいです。委員長さんの言葉を借りれば戦略になるのですが、図書館運営を組織的に来年は変えていこうと思っていますので、ぜひご協力をお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>いろんな企業が目標管理という手法を取り入れていて、市も取り入れたのですけれど、きちんと稼働していないのでは？と感じています。管理する側に問題があるのかな？と思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今年度の催し物を見ていても、集まる人は多くてほしい20人が限界という印象です。来る人はリピーターの人が多くて、定例のおはなし会にしても、それ以外のものにしても、新たな人が入ってこないという問題があります。ちょうど応援センターに用事があって図書館に来た時に、「図書館でティータイムを」の日だったので、寒い中レモングラスさんがやってくれている中に私も入ってみました。お話を聞いていると本当に楽しかったので、もっともっとたくさんの方が来てくれればいいのになと思います。おはなし会に来るのは、毎週同じ人が多いのではと思います。私の孫も0歳の頃から図書館のおはなし会に来ていましたが、周りを見ると小さい頃から来ている子たちがそのまま“おはなしわーど”に残っているのを感じます。ですので、新しい子どもさんや新しい親御さんが入っていきやすい雰囲気があるのではないかと思います。どうしたら新しい人が入っていきやすくなるかを考えていかなければいけないと思います。クリスマス会はおみやげがもらえるので参加者が多いのですが、そうではない時にも来てもらえるようにするにはいけないと思います。</p>

	<p>それから、やはり本を読みに来る人や借りる人が欲しい情報を得られるようになるというと思いますし、寄贈についても、以前はストップしていた時期があったと思いますが今は受け付けているのですか？</p>
<p>図書館長</p>	<p>ルールはありますが、寄贈本の受付はしています。</p>
<p>委員</p>	<p>そうですね。そういった情報がわからないので、どこかでスポット的に新聞などに載せてもらうなどしていただけたらいいのかなと思います。以前武将の展示をやったことがあったと思いますが、私もあの時付箋をつけましたが、結果はどうだったのかな？と気になっていました。発表もあったのでしたっけ？</p>
<p>図書館職員</p>	<p>あの時は、最後の週に結果を貼り出しました。</p>
<p>委員</p>	<p>そうですね。あの時の結果はどうだったんだろう？とか、未だに気になっていたりするので、そういった情報を見ることのできる機会があればいいなと思いました。展示一覧のような、リーフレットのようなものを作ってもいいかもしれませんし、展示が本当に素敵だったのでその時どんな本を展示していたのかがわかるようなものがあって、後から見ることができたら嬉しいです。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>館長、展示については効果がわかるようになるのでしたっけ？</p>
<p>図書館長</p>	<p>展示については、その期間中に何冊借りられたとか効果がわかればいいなと思ったのですが、数値に表すことができないので課長さんのほうからだったと思いますが、展示についてのアンケートを取るのはいかがでしょうか？という話もあって、今おっしゃられたようなこともいいなと思って聞いていました。</p>
<p>委員</p>	<p>せっかくなので展示の時に並べた本の一覧が見れたらいいなと思います。</p>
<p>図書館職員</p>	<p>そうですね。一覧を作ることは今まで考えたことがありませんでしたので、できるかどうかなんとも言えませんがアイデアをいただければ検討ができます。ありがとうございます。</p>
<p>副委員長</p>	<p>私も資料を見ていて他の委員さんと同じことを思ったのですが、せっかくすごく良いことが始まっているので、どうやって新しい人を呼び込めるのかを考えたらいいと思います。私は昨年図書館長と一緒に岡谷の図書館の勉強会に参加しましたが、そちらでも様々な企画をしていました。そこで出た具体的な案と茅野市の図書館の事業を見比べると、岡谷の図書館に繋がるようなものがすでにでき始めているな、と感じました。</p> <p>映画のポスターとコラボして本の展示をしたということや、書店さんのご厚意でいただいた本を利用者に配布したとあります。岡谷の図書館も映画館や街の本屋さんや繋がりを持っています。例えば、映画館や本屋さんの情報を図書館で提供したり、逆に、映画館や本屋さんに行くと、図書館でこんなイベントをやっていますよといった情報がわかるといったことがこれからできそうだと思います。</p> <p>委員長が言われたようにコンセプトを決めることも大事なのですが、それを受けて具体的な案をみんなを出していくということが今ならできないかと思いました。先日お話をさせていただいた時に、課長さんの方からまず次年度の協議会をワークショップという形でやってみたらどうかという提案がありました。職員さんも交えて、そういったことをぜひやってみてはどうかと思いました。</p>

生涯学習課長	<p>ワークショップの話は委員長の方から聞きました。良い雰囲気になってきて、居心地の良い図書館を目指そうと思ってやっているのですが、それがどういうものなのか？それぞれが思っている意見を出し合うワークショップができれば、さらにワクワクした図書館になっていくのでは？という話でしたね？</p>
委員長	<p>何年も図書館協議会をやってきましたけれど、議論では何の解決にもならないと思いました。作業をしないと先には進まないです。ワークショップの手法でみんなの意見を出すことで、みんなの共通認識ができますし、ひとりの優秀な人がいるよりも色んな人が集まってアイデアを出したほうが良い結果になるのではないかと思います。ぜひ来年はそういった形で行いたいと思います。委員さんが出席できるような時間帯を考えていただければと思います。</p>
図書館長	<p>職員が出席できるのは館内整理日になるので、次回もし4月であれば13日から22日までが館内整理日になります。ただ、蔵書点検の年なのでそれが終わってからでないといけないと時間が取れないです。最終日は開館準備があるので21日の火曜日から20日の月曜日になるのかなと思います。</p>
図書館職員	<p>初日はほとんど機器を分室さんに渡すので初日の午後でも良いかもしれません。</p>
図書館長	<p>では、また予定を皆さんにお聞きしようと思います。時間は4時半までの職員がいるので、全員揃えるなら午前中か午後の1番になると思いますので、それも併せてお聞きしますのでよろしくお願いします。</p>
	<p>5 その他 (特になし)</p>
生涯学習課長	<p>6 閉会 ありがとうございました。来年度はまず職員さんと委員さんを含めたワークショップをやっていきましょうということになりました。今日は委員の皆さんも欠席が多かったので、次回の日程調整は早めに行おうと思います。今日が年度内最後の図書館協議会でしたが、非常に大きな一歩を踏み出した1年だったと感じています。皆さんのご協力に感謝を申し上げまして、図書館協議会を閉会させていただきたいと思います。どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">～午後3時10分 会議終了～</p>

